

## 解答

一

- 問一 1 とびあがつたり 2 手をたたいたり 3 手をあげたり  
問二 踊りやダンス  
問三 文明の中に生じた「文化」  
問四 (エ) いろんなメディアや商品  
問五 グローバル  
問六 (イ)  
問七 言葉がどんどん分かれていくこと。  
問八 (ア)  
問九 C  
問十 A (オ) B (ウ) C (イ)  
問十一 漢字を利用  
問十二 日本人は  
問十三 表音  
問十四 本を読んだり文字を書いたりする  
問十五 (ア)  
問十六 エ  
問十七 (エ)  
問十八 これでわか  
問十九 (ウ)  
問二十

二

- ① 気 ② 足 ③ 耳 ④ 手 ⑤ 目

三

- ① たい、(ク) ② いぬ、(カ) ③ ねこ、(オ) ④ へび、(キ) ⑤ すずめ、(ウ)

四

- ① 器量 ② 提供 ③ 協議 ④ 節度 ⑤ 予断 ⑥ 検証 ⑦ 効率 ⑧ そんぼう  
⑨ いごこち ⑩ むぞうさ

## 解説

一

問二 — 線②を含む一文の「情報の表現のちがいが生まれます。」に着目すると、直前の一文にある「踊りやダンス」がぬき出せます。

問七 — 線⑦の前後で述べられている文明と文化の違いに着目します。「文化」は、その文明の中の一部を担っているものであり、地域の特性をいかしつつ、情報のコードとモードのかたちをつくり、農村文化等のたくさん文化をつくるのが述べられ、その後「文明圏の中でそれぞれの文化ができてくる時代には、言葉もどんどん分かれていきます。」という記述があることから、理由としてふさわしくないものは選択肢(イ)になります。

問二十 本文後半の「このように情報文化には、」で始まる段落に着目します。「ドメスティック・カルチャー」とは、その民族や文化に独自なものであることから、「民族や地域によって異なる独自の情報文化が集まると、」という記述を含む選択肢(ウ)の内容がふさわしくありません。